

1 はじめに

平成16年度から大崎管内教育研究会では本主題で研究を続け、実生活との関連を図った指導内容の工夫に取り組んできた。授業に、家庭生活の中から生徒が発見した課題を取り入れ、日常生活の場面を意図的に設定し実践した。また、習得した基礎的な知識や技能を自分の生活の中に生かすことで、よりよい家庭生活が送れるものと考えた。選択教科においては、技術分野・家庭分野の授業で学習した事柄をもとに、生徒の選択により課題学習、補充的な学習、発展的な学習の定着と深化を図らせたいと考えた。

2 研究のねらい

「生活にいかす力」を育てるためには、生徒が課題をより身近に捉えさせる工夫や働きかけが必要と考えた。そこで、「家庭の主婦・主夫になろう」というテーマを設定した。自分で家族構成を考え、その家庭がよりよい生活を送るための課題を設定させた。そして、既習事項や経験を生かした実践を通して解決を図ることをねらいとした。

3 研究主題に沿っての具体的な手だて

自分が主婦・主夫の立場として、家庭生活をよりよいものにするために何ができるかを考えさせる。そして、自らが設定した家族のための仕事（課題）に取り組ませる。実際に学んだことを、自分自身の家庭において、どのように役立てたいかを考えさせたり、実践させたりする。

(1) 課題の設定

① 家族構成の想定

自分で家族構成を考え、その家族一人一人の年齢や職業、趣味などを想定させる。その上で、自分はその家族の主婦・主夫であるという設定にし、自分の家族であるという自覚をもたせる。

② よりよい家庭生活を営むための課題設定

主婦・主夫という立場で、自分が設定した家族一人一人のためにどのようなことをしていけば、よりよい家庭生活になるかを考えさせる。その際、技術分野の学習内容も含めて家族や家庭生活に役立つ課題を設定する。

(2) 課題の解決

① 計画作成

家族一人一人に設定した課題をさらに具体化し、実践する時期や準備物、技能面などを考慮して計画を立てた。その際、設定したいくつかの課題に焦点を当て解決する内容を考えさせた。

② 実践

今までの学習で身に付けた知識や技能を生かしながら製作・実習を行ったり、インターネットや書籍、地域の方から情報を得たりしながら、生徒の課題に応じて解決方法を工夫させた。

③ 見直し

学習して身に付いたことを実生活にどのように生かせるかを考えさせ、また各家庭での実践を促した。学習のまとめとして、これまでの取組や意見を発表し合い、様々な課題解決の方法を知る機会を設定した。生活に生かせる知識や技能内容の幅が広がり、実践に結びつくことをねらいとした。その後、家庭での作品活用や実践をしてみようの様子などをレポートにまとめ、生活にいかす力を養わせたいと考えた。

(3) 授業の実践

～テーマ：家庭の主婦・主夫になろう～

【実践例1】

① 課題の設定（図1）

6人家族を設定し、『環境や資源を考えた生活をしよう』を学習目標にした。洋服の整理をしたいと思っている祖母とともに「洋服

学習内容	項目	主な学習活動	評価	形態	時数
1 家族構成の想定	家庭分野 B (3)	・家族構成を想定する。 (家族構成, 年齢, 職業, 趣味, その他)	・将来, 自分が持ちたい家族を 考えることができたか。	個別	2
2 よりよい家庭生活を 営むための課題設定	家庭分野 A (1) ~ (6) B (1) ~ (6) 技術分野 A (1) ~ (6) B (1) ~ (6)	・家庭生活をよりよいも のにするための仕事 (課 題) を考える。	・家庭生活の様々な場面を考え て主婦・主夫としてどのよう なことをしたらよいか考える ことができたか。	個別	1
3 計画作成		・課題について自ら解決 する手だてを考える。	・家族のための仕事の計画を立 てることができたか。	個別	6
4 実践・見直し		・課題を解決するための 実践を進める。	・今まで学習した知識や技能を 生かして, 調べ学習や製作・ 実習・見直しをすることがで きたか。	個別	10
※学習内容の1~3を繰り返す。(毎時間自己評価する。)					
5 発表		・発表をするための準備 をする。 ・発表をする。 (相互評価をする。)	・今までのまとめと反省を行う ことができたか。 ・お互いの発表を聞き, 次の課 題について考えることができ たか。	全体	2
6 まとめ		・これまでのまとめをす る。(レポート作成)	・これからの家庭生活に役立 てようと思えることができた か。	個別	1

のリフォームをする」, エコロジーの問題に関心がある子どもと一緒に「牛乳パックを再利用する」や「ゴミを出さない工夫をする」などの課題を設定した。

② 課題の解決 (図2)

設定した課題に基づいて学習計画を立て, 製作に取り組んだ。

ア 牛乳パックから生活に役立つ小物入れを作る。(写真1)

イ 衣服をリフォームして生活に役立つ物に生まれ変わらせる。

<例>

i ジーンズから作ったエプロン(写真2)

ii レースのカーディガンとジーンズから作ったバック (写真3)

課題設定のための学習シート (図1)

3年 選択 技術・家庭 3年 組 氏名

学習目標
環境や資源を考えた生活をしよう

学習内容

1 家族構成

メンバー	年齢	職業・学生など	趣味	その他
夫	39	医者	ギター・スホリ	小児科
私	36	先生(高校)	手芸	
子ども	12	女の子	手芸	エコ問題に関心がある
子ども	2	男の子	砂遊び	
父	65	農業	空手・ギター	
母	61	農業	ガーデニング	洋服の整理をしたいと思ってる。

2 学習課題

～資源を有効利用するための工夫を考える。～
 ○着なくなった衣服のリフォーム ○牛乳パックの再利用
 ○省エネルギーの方法を工夫 ○ゴミを出さない工夫

課題解決のための学習計画表（図2）

自己評価			
月日	内容	反省・感想	ABCD
1	5/22 パッチワーク 1	集中して取り組むことができた。	A
2	5/29 パッチワーク 2	真面目に取り組むことができました。	A
3	6/5 パッチワーク 3	少しずつ完成に近づきました。	A
4	6/10 パッチワーク 4	作業がはかばか進んだ。	A
5	6/19 パッチワーク 5	集中して取り組めた。	A
6	6/26 パッチワーク 6	真面目に取り組むことができた。	A
7	7/3 ユースター	きちんと作品を完成させました。	A
8	7/17 作品について、手紙。	作品のAについて、手紙の返事などができました。	A

月日	内容	反省・感想	評価ABCD
1	5/22 家族の思い出をテーマにしたパッチワーク	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	A
2	5/29 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	C
3	6/5 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	B
4	6/10 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	A
5	6/19 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	A
6	6/26 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	A
7	7/3 家族の思い出	家族の思い出をテーマにしたパッチワークができた。	A



（写真3）

『生徒の感想から』

今までの自分たちの生活を考えてみるととても無駄な生活をしていたんだと思いました。リフォームは最初は難しいというイメージをもっていたけど、ちょっと手を加えればまた使えるものになりました。今回の授業を通して物の大切さや物を作る時の手間がよくわかりました。これからは物を買うときには本当に使うだろうか、使い終わった後はどうしようかなどを考えてから買おうと思います。



（写真1）



（写真2）

【実践例2】

① 課題の設定

5人家族を設定し、『家にある材料を使い、生活に役立つものを作る』を学習目標にした。家にある余り布を利用して「家族のために役立つものを作る」や「ペットのためのグッズを作る」などの課題を設定した。

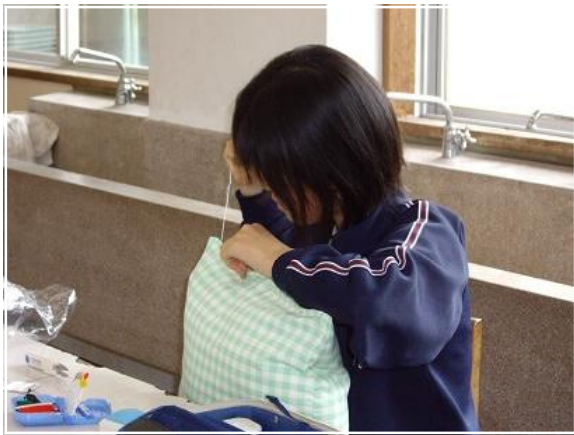
② 課題の解決

設定した課題に基づいて学習計画を立て、製作に取り組んだ。

ア 家にある余り布を利用して、生活に役立つものを作る。

i ペットの犬が昼寝するためのクッション製作 (写真4)

ii 家族で使うパッチワーク小物の製作



(写真4)



(写真5)

『生徒の感想から』

ペットの犬のためのクッションは、使わな
いでしまっていた布を役立てることができ
てよかったです。ミシンで作ったので、短時間
でできました。2つ目の作品はじっくりと時
間をかけて作るパッチワークにしました。最
初は難しかったですが、だんだん慣れて早く
縫えるようになりました。壁に飾る予定で作
りましたが、完成してみると大きくなってし
まい、家族で使うマットにしようと思いま
す。これからも、家族の人に喜んでもらえ
ることをいろいろと考えたいと思いました。

4 成果と課題

(1) 成果

① 家庭の主婦・主夫として実践してきたこ
とで、家族一人一人の気持ちや立場になっ
て考える生徒が増えた。また、家庭内のコ
ミュニケーションが増え、家族の一員とし
ての自覚をもてるようになった。

② 友人の考えや作品をお互いに見聞きし
たことで、生活に生かす知識や技能の幅が
広がった。友人の作品を見ることで、自分
も次で作ってみたいという意欲も高まった。

③ よりよい生活をするための考えをまとめ
たり、実践したりしていくことで知識や技
能の定着が見られた。また、自分の課題を
発展させ、さらに学習内容を深めた生徒も
いた。

④ 将来の家族構成のイメージを具体的に
つかむことは難しいので、「B 家族と家庭生
活 (3) 家庭と家族関係」の内容を補充させ
る機会として捉えた。よく知っているアニ
メの家族を参考にしてロールプレイングや
シュミレーションをさせた。全体で家族に
ついての理解を共有してから、個人の課題
を設定させることができた。

(2) 課題

① 生徒の課題が多岐にわたるため、個別
指導に時間を要した。

② 「まとめの発表会」を行うだけでなく、
「中間発表会」を設け計画の見直しをす
ることさらに実践が深まったのではない
かと考える。

以上の課題をふまえ、今後は改善を図り
ながら、よりよい授業の実践に努めてい
きたい。

